

令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 福島県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	南会津病院	2
-	宮下病院	3
-	大野病院	4
-	矢吹病院	5
-	ふたば医療センター	6
いわき市	いわき市医療センター	7
田村市	たむら市民病院	8
南相馬市	南相馬市立総合病院	9
猪苗代町	猪苗代町立猪苗代病院	10
泉崎村	国保泉崎村立病院	11
三春町	三春病院	12
公立藤田病院組合	公立藤田総合病院	13
公立岩瀬病院企業団	公立岩瀬病院	14
公立小野町地方総合病院 企業団	公立小野町地方総合病院	15
相馬方部衛生組合	公立相馬総合病院	16

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				福島県	
市町村・組合名					
病院名	南会津病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	9,382 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	救へ災		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	98	34.2	49.6	62.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	34.2	49.6	62.0
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	19.7	15.3

設立団体の状況		
人口(人)	1,833,152	
決算規模(千円)	1,404,964,954	
標準財政規模(千円)	490,681,757	
財政力指数	0.54482	
経常収支比率(%)	95.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	119.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	44.4
修正医業収益(千円)	986,468

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,373,047			
1 経常収益	2,331,742			
(1) 医業収益	1,088,441			
入院収益	394,110			
外来収益	555,017			
診療収入計	949,127			
その他医業収益	139,314			
(うち他会計負担金)	101,973			
(2) 医業外収益	1,243,301			
(うち国・都道府県補助金)	423,279			
(うち他会計補助・負担金)	643,573			
(うち長期前受金戻入)	168,172			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	41,305			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,373,047			
2 経常費用	2,327,400			
(1) 医業費用	2,223,345			
職員給与費	1,164,411	107.0	62.1	78.9
材料費	211,083	19.4	25.3	15.6
(うち薬品費)	103,962	9.6	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	106,674	9.8	11.4	6.0
減価償却費	168,174	15.5	9.5	11.7
経費	633,566	58.2	22.7	31.2
(うち委託料)	371,181	34.1	12.6	14.3
研究研修費	36,366			
資産減耗費	9,745			
(2) 医業外費用	104,055			
(うち支払利息)	101,585	9.3	1.3	1.7
(3) 特別損失	45,647			
損益				
経常損益	4,342			
純損益	-			
累積欠損金	1,282,421			
経常収支比率	100.2		101.9	100.3
医業収支比率	49.0		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	32.0		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	68.5		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	31.4		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	68.2		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	32,138,171
1 固定資産	30,164,885
(1) 有形固定資産	11,621,387
(2) 無形固定資産	3,924
(3) 投資その他の資産	18,539,574
2 流動資産	1,973,286
(1) 現金及び預金	1,292,965
(2) 未収金及び未収収益	644,064
(3) 貸倒引当金()	2,218
(4) 貯蔵品	29,380
3 繰延資産	-
負債合計	21,605,158
1 固定負債	14,702,855
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,595,899
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	850,350
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	256,606
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,901,630
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	874,845
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	254,182
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	240,507
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	881,130
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,000,673
(1) 長期前受金	17,200,647
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,199,974
資本合計	10,533,013
1 資本金	4,454,663
2 剰余金	6,078,350
(1) 資本金剰余金	12,662,129
(2) 利益剰余金	-6,583,779
負債・資本合計	32,138,171
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	546,464	745,546
資本勘定繰入	295,105	502,907
計	841,569	1,248,453

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	277.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				福島県	
市町村・組合名					
病院名	宮下病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,205 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	32	17.1	29.4	31.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	32	17.1	29.4	31.9
平均在院日数(一般病床のみ)		13.4	14.2	15.1

設立団体の状況		
人口(人)	1,833,152	
決算規模(千円)	1,404,964,954	
標準財政規模(千円)	490,681,757	
財政力指数	0.54482	
経常収支比率(%)	95.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	119.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	21.8
修正医業収益(千円)	157,841

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	747,022			
1 経常収益	743,099			
(1) 医業収益	157,841			
入院収益	55,070			
外来収益	91,140			
診療収入計	146,210			
その他医業収益	11,631			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	585,258			
(うち国・都道府県補助金)	35,541			
(うち他会計補助・負担金)	502,671			
(うち長期前受金戻入)	43,373			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,923			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	747,022			
2 経常費用	741,403			
(1) 医業費用	724,728			
職員給与費	407,745	258.3	62.1	89.0
材料費	31,297	19.8	25.3	14.0
(うち薬品費)	16,414	10.4	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,634	9.3	11.4	5.4
減価償却費	48,370	30.6	9.5	13.0
経費	225,067	142.6	22.7	47.1
(うち委託料)	121,519	77.0	12.6	22.5
研究研修費	11,453			
資産減耗費	796			
(2) 医業外費用	16,675			
(うち支払利息)	15,898	10.1	1.3	1.3
(3) 特別損失	5,619			
損益				
経常損益	1,696			
純損益	-			
累積欠損金	560,383			
経常収支比率	100.2		101.9	98.5
医業収支比率	21.8		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	67.6		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	318.5		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	67.3		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	32.4		89.3	64.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	32,138,171
1 固定資産	30,164,885
(1) 有形固定資産	11,621,387
(2) 無形固定資産	3,924
(3) 投資その他の資産	18,539,574
2 流動資産	1,973,286
(1) 現金及び預金	1,292,965
(2) 未収金及び未収収益	644,064
(3) 貸倒引当金()	2,218
(4) 貯蔵品	29,380
3 繰延資産	-
負債合計	21,605,158
1 固定負債	14,702,855
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,595,899
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	850,350
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	256,606
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,901,630
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	874,845
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	254,182
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	240,507
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	881,130
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,000,673
(1) 長期前受金	17,200,647
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,199,974
資本合計	10,533,013
1 資本金	4,454,663
2 剰余金	6,078,350
(1) 資本金剰余金	12,662,129
(2) 利益剰余金	-6,583,779
負債・資本合計	32,138,171
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	445,189	502,671
資本勘定繰入	47,812	95,631
計	493,001	598,302

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	277.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				福島県	
市町村・組合名					
病院名	大野病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,553 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	10	指定病院の状況	感 輪		
許可公営企業		看護配置	その他		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	146	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	150	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,833,152	
決算規模(千円)	1,404,964,954	
標準財政規模(千円)	490,681,757	
財政力指数	0.54482	
経常収支比率(%)	95.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	119.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	89,063			
1 経常収益	88,371			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	88,371			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	3,255			
(うち長期前受金戻入)	85,116			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	692			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	99,982			
2 経常費用	99,982			
(1) 医業費用	97,436			
職員給与費	-	-	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	94,237	-	9.5	10.7
経費	3,199	-	22.7	29.2
(うち委託料)	1,389	-	12.6	13.9
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	2,546			
(うち支払利息)	2,546	-	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-11,611			
純損益	-10,919			
累積欠損金	2,883,213			
経常収支比率	88.4		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	3.7		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	3.7		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	85.1		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	32,138,171
1 固定資産	30,164,885
(1) 有形固定資産	11,621,387
(2) 無形固定資産	3,924
(3) 投資その他の資産	18,539,574
2 流動資産	1,973,286
(1) 現金及び預金	1,292,965
(2) 未収金及び未収収益	644,064
(3) 貸倒引当金()	2,218
(4) 貯蔵品	29,380
3 繰延資産	-
負債合計	21,605,158
1 固定負債	14,702,855
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,595,899
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	850,350
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	256,606
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,901,630
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	874,845
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	254,182
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	240,507
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	881,130
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,000,673
(1) 長期前受金	17,200,647
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,199,974
資本合計	10,533,013
1 資本金	4,454,663
2 剰余金	6,078,350
(1) 資本金剰余金	12,662,129
(2) 利益剰余金	-6,583,779
負債・資本合計	32,138,171
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,697	3,255
資本勘定繰入	14,932	22,400
計	16,629	25,655

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	277.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				福島県	
市町村・組合名					
病院名 矢吹病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	13,431 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	3	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	196	62.2	70.6	68.3
感染症	-	-	-	-
計	196	62.2	70.6	68.3
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,833,152	
決算規模(千円)	1,404,964,954	
標準財政規模(千円)	490,681,757	
財政力指数	0.54482	
経常収支比率(%)	95.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	119.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	39.0
修正医業収益(千円)	766,245

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,023,130			
1 経常収益	2,012,747			
(1) 医業収益	917,562			
入院収益	549,161			
外来収益	182,484			
診療収入計	731,645			
その他医業収益	185,917			
(うち他会計負担金)	151,317			
(2) 医業外収益	1,095,185			
(うち国・都道府県補助金)	90,698			
(うち他会計補助・負担金)	962,158			
(うち長期前受金戻入)	28,622			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	10,383			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,023,130			
2 経常費用	2,011,195			
(1) 医業費用	1,965,352			
職員給与費	1,234,487	134.5	62.1	104.8
材料費	80,399	8.8	25.3	8.7
(うち薬品費)	61,312	6.7	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,499	1.9	11.4	1.3
減価償却費	67,037	7.3	9.5	13.5
経費	538,465	58.7	22.7	33.3
(うち委託料)	256,741	28.0	12.6	18.6
研究研修費	44,115			
資産減耗費	849			
(2) 医業外費用	45,843			
(うち支払利息)	43,743	4.8	1.3	2.7
(3) 特別損失	11,935			
損益				
経常損益	1,552			
純損益	-			
累積欠損金	2,222,562			
経常収支比率	100.1		101.9	101.4
医業収支比率	46.7		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	55.3		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	121.4		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	55.0		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	44.7		89.3	66.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	32,138,171
1 固定資産	30,164,885
(1) 有形固定資産	11,621,387
(2) 無形固定資産	3,924
(3) 投資その他の資産	18,539,574
2 流動資産	1,973,286
(1) 現金及び預金	1,292,965
(2) 未収金及び未収収益	644,064
(3) 貸倒引当金()	2,218
(4) 貯蔵品	29,380
3 繰延資産	-
負債合計	21,605,158
1 固定負債	14,702,855
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,595,899
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	850,350
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	256,606
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,901,630
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	874,845
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	254,182
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	240,507
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	881,130
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,000,673
(1) 長期前受金	17,200,647
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,199,974
資本合計	10,533,013
1 資本金	4,454,663
2 剰余金	6,078,350
(1) 資本金剰余金	12,662,129
(2) 利益剰余金	-6,583,779
負債・資本合計	32,138,171
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	747,158	1,113,475
資本勘定繰入	77,178	155,369
計	824,336	1,268,844

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	277.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				福島県	
市町村・組合名					
病院名 ふたば医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	3,860 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	4	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	30	19.9	14.3	13.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	19.9	14.3	13.0
平均在院日数(一般病床のみ)		8.0	7.0	8.0

設立団体の状況		
人口(人)	1,833,152	
決算規模(千円)	1,404,964,954	
標準財政規模(千円)	490,681,757	
財政力指数	0.54482	
経常収支比率(%)	95.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	119.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	14.1
修正医業収益(千円)	212,643

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,551,538			
1 経常収益	1,530,501			
(1) 医業収益	212,643			
入院収益	51,987			
外来収益	154,647			
診療収入計	206,634			
その他医業収益	6,009			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,317,858			
(うち国・都道府県補助金)	945,423			
(うち他会計補助・負担金)	171,220			
(うち長期前受金戻入)	196,927			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	21,037			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,561,690			
2 経常費用	1,537,196			
(1) 医業費用	1,502,799			
職員給与費	474,604	223.2	62.1	89.0
材料費	108,114	50.8	25.3	14.0
(うち薬品費)	56,888	26.8	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	51,225	24.1	11.4	5.4
減価償却費	196,943	92.6	9.5	13.0
経費	708,188	333.0	22.7	47.1
(うち委託料)	392,628	184.6	12.6	22.5
研究研修費	13,423			
資産減耗費	1,527			
(2) 医業外費用	34,397			
(うち支払利息)	32,629	15.3	1.3	1.3
(3) 特別損失	24,494			
損益				
経常損益	-6,695			
純損益	-10,152			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.6		101.9	98.5
医業収支比率	14.1		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	11.2		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	80.5		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	11.0		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	88.4		89.3	64.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	32,138,171
1 固定資産	30,164,885
(1) 有形固定資産	11,621,387
(2) 無形固定資産	3,924
(3) 投資その他の資産	18,539,574
2 流動資産	1,973,286
(1) 現金及び預金	1,292,965
(2) 未収金及び未収収益	644,064
(3) 貸倒引当金()	2,218
(4) 貯蔵品	29,380
3 繰延資産	-
負債合計	21,605,158
1 固定負債	14,702,855
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,595,899
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	850,350
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	256,606
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,901,630
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	874,845
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	254,182
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	240,507
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	881,130
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,000,673
(1) 長期前受金	17,200,647
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,199,974
資本合計	10,533,013
1 資本金	4,454,663
2 剰余金	6,078,350
(1) 資本金剰余金	12,662,129
(2) 利益剰余金	-6,583,779
負債・資本合計	32,138,171
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	74,743	171,220
資本勘定繰入	42,544	87,618
計	117,287	258,838

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	277.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				福島県	
市町村・組合名	いわき市				
病院名	いわき市医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	64,197 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	679	63.9	74.9	74.5
療養	-	-	-	-
結核	15	14.4	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	50.3	1.5	-
計	700	62.7	72.7	72.3
平均在院日数(一般病床のみ)		12.1	12.4	12.8

設立団体の状況		
人口(人)	332,931	
決算規模(千円)	192,542,884	
標準財政規模(千円)	76,498,488	
財政力指数	0.80	
経常収支比率(%)	87.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	9.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.7
修正医業収益(千円)	17,285,373

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	24,792,321			
1 経常収益	24,406,198			
(1) 医業収益	17,441,772			
入院収益	12,926,273			
外来収益	3,845,307			
診療収入計	16,771,580			
その他医業収益	670,192			
(うち他会計負担金)	156,399			
(2) 医業外収益	6,964,426			
(うち国・都道府県補助金)	2,980,849			
(うち他会計補助・負担金)	2,076,900			
(うち長期前受金戻入)	1,802,056			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	386,123			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	23,668,328			
2 経常費用	23,346,386			
(1) 医業費用	22,247,023			
職員給与費	9,284,863	53.2	62.1	55.8
材料費	5,280,175	30.3	25.3	29.8
(うち薬品費)	2,278,580	13.1	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,001,595	17.2	11.4	13.0
減価償却費	2,504,561	14.4	9.5	8.7
経費	3,015,789	17.3	22.7	19.7
(うち委託料)	1,962,276	11.3	12.6	12.6
研究研修費	594,783			
資産減耗費	1,566,852			
(2) 医業外費用	1,099,363			
(うち支払利息)	84,923	0.5	1.3	1.2
(3) 特別損失	321,942			
損益				
経常損益	1,059,812			
純損益	1,123,993			
累積欠損金	6,907,383			
経常収支比率	104.5		101.9	102.5
医業収支比率	78.4		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	9.2		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	12.8		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	9.0		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	95.0		89.3	93.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	62,766,394
1 固定資産	47,499,789
(1) 有形固定資産	47,023,834
(2) 無形固定資産	7,127
(3) 投資その他の資産	468,828
2 流動資産	15,266,605
(1) 現金及び預金	9,798,064
(2) 未収金及び未収収益	5,264,536
(3) 貸倒引当金()	20,314
(4) 貯蔵品	224,319
3 繰延資産	-
負債合計	55,377,788
1 固定負債	37,497,194
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	30,125,399
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,768,573
(7) リース債務	1,603,222
2 流動負債	6,170,682
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,075,133
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	630,183
(6) リース債務	135,307
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,222,735
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	11,709,912
(1) 長期前受金	18,700,102
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,990,190
資本合計	7,388,606
1 資本金	12,396,373
2 剰余金	-5,007,767
(1) 資本金剰余金	1,899,616
(2) 利益剰余金	-6,907,383
負債・資本合計	62,766,394
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,229,651	2,233,299
資本勘定繰入	995,797	1,036,694
計	3,225,448	3,269,993

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	39.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)			都道府県名
			福島県
市町村・組合名	田村市		
病院名	たむら市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	2,652 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	10	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	32	46.3	45.4	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	32	46.3	45.4	-
平均在院日数(一般病床のみ)		23.9	26.2	-

設立団体の状況		
人口(人)	35,169	
決算規模(千円)	34,331,657	
標準財政規模(千円)	13,465,568	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	88.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.3
	将来負担比率(%)	1.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	73,410			
1 経常収益	73,410			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	73,410			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	68,256			
(うち長期前受金戻入)	5,154			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	73,410			
2 経常費用	73,410			
(1) 医業費用	73,410			
職員給与費	-	-	62.1	89.0
材料費	-	-	25.3	14.0
(うち薬品費)	-	-	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	5.4
減価償却費	5,154	-	9.5	13.0
経費	68,256	-	22.7	47.1
(うち委託料)	1,540	-	12.6	22.5
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	-	-		
(うち支払利息)	-	-	1.3	1.3
(3) 特別損失	-	-		
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	98.5
医業収支比率	-		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	93.0		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	93.0		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	7.0		89.3	64.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	425,432
1 固定資産	199,420
(1) 有形固定資産	199,420
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	226,012
(1) 現金及び預金	213,312
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	425,432
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	182,012
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	181,912
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	243,420
(1) 長期前受金	248,574
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,154
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	425,432
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	68,256	68,256
資本勘定繰入	91,215	213,730
計	159,471	281,986

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				福島県	
市町村・組合名	南相馬市				
病院名	南相馬市立総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	21,321 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨 災 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	250	60.0	74.5	70.3
療養	50	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	60.0	74.5	70.3
平均在院日数(一般病床のみ)		17.9	17.7	16.0

設立団体の状況		
人口(人)	59,005	
決算規模(千円)	64,083,967	
標準財政規模(千円)	18,445,669	
財政力指数	0.68	
経常収支比率(%)	93.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	71.6
修正医業収益(千円)	3,266,836

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,892,603			
1 経常収益	4,808,810			
(1) 医業収益	3,410,832			
入院収益	2,074,058			
外来収益	914,028			
診療収入計	2,988,086			
その他医業収益	422,746			
(うち他会計負担金)	143,996			
(2) 医業外収益	1,397,978			
(うち国・都道府県補助金)	828,643			
(うち他会計補助・負担金)	416,645			
(うち長期前受金戻入)	114,244			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	83,793			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,934,727			
2 経常費用	4,851,961			
(1) 医業費用	4,563,936			
職員給与費	2,307,986	67.7	62.1	63.5
材料費	641,865	18.8	25.3	24.9
(うち薬品費)	387,589	11.4	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	254,276	7.5	11.4	11.8
減価償却費	433,042	12.7	9.5	10.0
経費	1,153,339	33.8	22.7	21.7
(うち委託料)	493,593	14.5	12.6	12.2
研究研修費	14,969			
資産減耗費	12,735			
(2) 医業外費用	288,025			
(うち支払利息)	42,168	1.2	1.3	1.4
(3) 特別損失	82,766			
損益				
経常損益	-43,151			
純損益	-42,124			
累積欠損金	592,627			
経常収支比率	99.1		101.9	101.7
医業収支比率	74.7		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	11.7		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	16.4		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	11.5		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	87.6		89.3	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,429,479
1 固定資産	7,779,660
(1) 有形固定資産	7,605,724
(2) 無形固定資産	1,351
(3) 投資その他の資産	172,585
2 流動資産	2,649,819
(1) 現金及び預金	1,486,978
(2) 未収金及び未収収益	1,142,431
(3) 貸倒引当金()	4,081
(4) 貯蔵品	20,358
3 繰延資産	-
負債合計	6,606,191
1 固定負債	2,660,845
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,530,720
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	130,125
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,038,504
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	450,963
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	136,135
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	384,586
(9) 前受金及び前受収益	30,953
3 繰延収益	2,906,842
(1) 長期前受金	3,962,624
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,055,782
資本合計	3,823,288
1 資本金	4,149,599
2 剰余金	-326,311
(1) 資本金剰余金	266,316
(2) 利益剰余金	-592,627
負債・資本合計	10,429,479
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	519,242	560,641
資本勘定繰入	271,642	285,089
計	790,884	845,730

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	17.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		福島県	
市町村・組合名	猪苗代町		
病院名	猪苗代町立猪苗代病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	4,361 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	65	51.3	57.4	52.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	65	51.3	57.4	52.1
平均在院日数(一般病床のみ)		37.1	36.5	35.8

設立団体の状況		
人口(人)	13,552	
決算規模(千円)	10,383,601	
標準財政規模(千円)	5,489,456	
財政力指数	0.39	
経常収支比率(%)	89.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.7
	将来負担比率(%)	46.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	78,510			
1 経常収益	78,510			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	78,510			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	45,745			
(うち長期前受金戻入)	32,761			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	78,786			
2 経常費用	78,786			
(1) 医業費用	78,064			
職員給与費	-	-	62.1	78.9
材料費	-	-	25.3	15.6
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	6.0
減価償却費	32,275	-	9.5	11.7
経費	45,023	-	22.7	31.2
(うち委託料)	1,254	-	12.6	14.3
研究研修費	-			
資産減耗費	766			
(2) 医業外費用	722			
(うち支払利息)	116	-	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-276			
純損益	-276			
累積欠損金	307,593			
経常収支比率	99.6		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	58.3		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	58.3		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	41.6		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	999,517
1 固定資産	994,776
(1) 有形固定資産	978,637
(2) 無形固定資産	190
(3) 投資その他の資産	15,949
2 流動資産	4,741
(1) 現金及び預金	4,741
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	822,730
1 固定負債	3,484
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,484
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	17,238
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,524
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	714
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	802,008
(1) 長期前受金	1,207,511
(2) 長期前受金収益化累計額()	405,503
資本合計	176,787
1 資本金	210,160
2 剰余金	-33,373
(1) 資本金剰余金	274,220
(2) 利益剰余金	-307,593
負債・資本合計	999,517
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	45,687	45,745
資本勘定繰入	8,262	16,524
計	53,949	62,269

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		福島県	
市町村・組合名	泉崎村		
病院名	国保泉崎村立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	6,213	
決算規模(千円)	4,402,487	
標準財政規模(千円)	2,455,433	
財政力指数	0.60	
経常収支比率(%)	88.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,159			
1 経常収益	2,159			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	2,159			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	2,159			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,159			
2 経常費用	2,159			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	78.9
材料費	-	-	25.3	15.6
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	6.0
減価償却費	-	-	9.5	11.7
経費	-	-	22.7	31.2
(うち委託料)	-	-	12.6	14.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	2,159			
(うち支払利息)	2,159	-	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	-		89.3	76.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,439	2,159
資本勘定繰入	6,721	10,082
計	8,160	12,241

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				福島県
市町村・組合名	三春町			
病院名	三春病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	6,060 m ²	不採算地区中核病院		
診療科数	12	指定病院の状況	臨	
許可公営企業	許可	看護配置	10:1	
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	86	68.4	73.8	74.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	86	68.4	73.8	74.1
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	17.4	18.2

設立団体の状況		
人口(人)	17,018	
決算規模(千円)	11,391,148	
標準財政規模(千円)	5,177,959	
財政力指数	0.46	
経常収支比率(%)	85.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.1
	将来負担比率(%)	17.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	81,300			
1 経常収益	81,105			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	81,105			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	79,704			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	195			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	121,565			
2 経常費用	121,565			
(1) 医業費用	121,331			
職員給与費	-	-	62.1	78.9
材料費	-	-	25.3	15.6
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	6.0
減価償却費	85,942	-	9.5	11.7
経費	35,299	-	22.7	31.2
(うち委託料)	805	-	12.6	14.3
研究研修費	-			
資産減耗費	90			
(2) 医業外費用	234			
(うち支払利息)	234	-	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-40,460			
純損益	-40,265			
累積欠損金	803,835			
経常収支比率	66.7		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	98.3		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	98.0		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	1.2		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	878,579
1 固定資産	872,508
(1) 有形固定資産	870,851
(2) 無形固定資産	1,657
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	6,071
(1) 現金及び預金	6,071
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	58,469
1 固定負債	11,119
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	11,119
2 流動負債	47,350
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	43,741
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,609
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	820,110
1 資本金	1,594,303
2 剰余金	-774,193
(1) 資本金剰余金	29,642
(2) 利益剰余金	-803,835
負債・資本合計	878,579
不良債務	41,279
実質資金不足額	41,279
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	120,164	79,704
資本勘定繰入	24,605	3,582
計	144,769	83,286

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	41,279	-
令和元年度	41,224	-
平成30年度	41,093	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	41,279
健全化法上の資金不足比率(%)	3.7
地財法上の資金不足額(千円)	41,279
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				福島県	
市町村・組合名	公立藤田病院組合				
病院名	公立藤田総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,245 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	299	70.4	78.7	78.7
療養	-	-	-	-
結核	12	46.8	11.3	11.0
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	311	69.5	76.1	76.1
平均在院日数(一般病床のみ)		18.4	18.5	18.6

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.8
修正医業収支(千円)	5,156,723

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,184,330			
1 経常収益	6,070,474			
(1) 医業収益	5,271,334			
入院収益	3,361,703			
外来収益	1,589,420			
診療収入計	4,951,123			
その他医業収益	320,211			
(うち他会計負担金)	114,611			
(2) 医業外収益	799,140			
(うち国・都道府県補助金)	249,953			
(うち他会計補助・負担金)	476,641			
(うち長期前受金戻入)	26,237			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	113,856			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,172,912			
2 経常費用	6,059,063			
(1) 医業費用	5,740,078			
職員給与費	3,398,386	64.5	62.1	63.5
材料費	972,270	18.4	25.3	24.9
(うち薬品費)	449,278	8.5	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	475,246	9.0	11.4	11.8
減価償却費	378,208	7.2	9.5	10.0
経費	975,826	18.5	22.7	21.7
(うち委託料)	548,527	10.4	12.6	12.2
研究研修費	8,889			
資産減耗費	6,499			
(2) 医業外費用	318,985			
(うち支払利息)	53,832	1.0	1.3	1.4
(3) 特別損失	113,849			
損益				
経常損益	11,411			
純損益	11,418			
累積欠損金	1,318,225			
経常収支比率	100.2		101.9	101.7
医業収支比率	91.8		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	9.7		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	11.2		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	9.6		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	90.4		89.3	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,048,953
1 固定資産	6,299,252
(1) 有形固定資産	5,326,301
(2) 無形固定資産	7,692
(3) 投資その他の資産	965,259
2 流動資産	3,749,701
(1) 現金及び預金	2,791,438
(2) 未収金及び未収収益	896,629
(3) 貸倒引当金()	510
(4) 貯蔵品	62,144
3 繰延資産	-
負債合計	6,375,222
1 固定負債	4,824,633
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,824,633
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,014,437
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	472,453
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	222,081
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	291,361
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	536,152
(1) 長期前受金	970,941
(2) 長期前受金収益化累計額()	434,789
資本合計	3,673,731
1 資本金	4,991,956
2 剰余金	-1,318,225
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,318,225
負債・資本合計	10,048,953
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	618,384	591,252
資本勘定繰入	263,914	25,604
計	882,298	616,856

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				福島県	
市町村・組合名	公立岩瀬病院企業団				
病院名	公立岩瀬病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	25,652 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨感 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	273	62.5	74.8	79.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	279	61.2	73.2	77.4
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	13.7	13.2

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.2
修正医業収益(千円)	4,656,995

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,913,523			
1 経常収益	5,768,540			
(1) 医業収益	4,764,293			
入院収益	3,028,463			
外来収益	1,215,344			
診療収入計	4,243,807			
その他医業収益	520,486			
(うち他会計負担金)	107,298			
(2) 医業外収益	1,004,247			
(うち国・都道府県補助金)	161,568			
(うち他会計補助・負担金)	489,363			
(うち長期前受金戻入)	320,581			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,144,983			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,371,739			
2 経常費用	6,310,005			
(1) 医業費用	5,954,642			
職員給与費	3,144,589	66.0	62.1	66.1
材料費	982,421	20.6	25.3	19.8
(うち薬品費)	505,649	10.6	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	438,530	9.2	11.4	9.3
減価償却費	458,000	9.6	9.5	10.2
経費	1,352,277	28.4	22.7	28.2
(うち委託料)	375,447	7.9	12.6	13.6
研究研修費	15,342			
資産減耗費	2,013			
(2) 医業外費用	355,363			
(うち支払利息)	67,264	1.4	1.3	1.6
(3) 特別損失	61,734			
損益				
経常損益	-541,465			
純損益	541,784			
累積欠損金	-			
経常収支比率	91.4		101.9	99.9
医業収支比率	80.0		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	10.3		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	12.5		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	8.6		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	82.0		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,133,528
1 固定資産	8,097,494
(1) 有形固定資産	8,096,042
(2) 無形固定資産	1,452
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	2,036,034
(1) 現金及び預金	1,141,850
(2) 未収金及び未収収益	874,321
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	19,863
3 繰延資産	-
負債合計	9,337,493
1 固定負債	6,491,305
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,623,634
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	301,497
(6) 引当金	1,566,174
(7) リース債務	-
2 流動負債	926,213
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	293,396
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	49,812
(5) 引当金	191,400
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	282,384
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,919,975
(1) 長期前受金	3,738,011
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,818,036
資本合計	796,035
1 資本金	645,625
2 剰余金	150,410
(1) 資本剰余金	24,303
(2) 利益剰余金	126,107
負債・資本合計	10,133,528
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	589,045	596,661
資本勘定繰入	164,313	237,040
計	753,358	833,701

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				福島県	
市町村・組合名	公立小野町地方総合病院企業団				
病院名	公立小野町地方総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,621 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	85.8	78.8	92.5
療養	59	94.3	87.0	86.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	119	90.0	82.8	89.7
平均在院日数(一般病床のみ)		18.8	25.4	29.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.9
修正医業収益(千円)	1,652,258

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,081,301			
1 経常収益	2,005,884			
(1) 医業収益	1,652,258			
入院収益	960,326			
外来収益	628,259			
診療収入計	1,588,585			
その他医業収益	63,673			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	353,626			
(うち国・都道府県補助金)	34,513			
(うち他会計補助・負担金)	155,386			
(うち長期前受金戻入)	124,139			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	75,417			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,904,252			
2 経常費用	1,895,952			
(1) 医業費用	1,798,190			
職員給与費	671,528	40.6	62.1	67.4
材料費	345,417	20.9	25.3	17.7
(うち薬品費)	259,830	15.7	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	81,572	4.9	11.4	8.8
減価償却費	160,826	9.7	9.5	10.7
経費	619,598	37.5	22.7	29.2
(うち委託料)	169,208	10.2	12.6	13.9
研究研修費	774			
資産減耗費	47			
(2) 医業外費用	97,762			
(うち支払利息)	3,779	0.2	1.3	1.5
(3) 特別損失	8,300			
損益				
経常損益	109,932			
純損益	177,049			
累積欠損金	1,348,081			
経常収支比率	105.8		101.9	100.3
医業収支比率	91.9		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	7.7		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	9.4		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	7.5		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	97.6		89.3	84.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,661,177
1 固定資産	2,082,009
(1) 有形固定資産	2,081,538
(2) 無形固定資産	471
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	579,168
(1) 現金及び預金	267,214
(2) 未収金及び未収収益	299,587
(3) 貸倒引当金()	194
(4) 貯蔵品	12,561
3 繰延資産	-
負債合計	2,754,965
1 固定負債	861,675
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	326,419
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	535,256
(7) リース債務	-
2 流動負債	201,998
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	23,681
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	51,469
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	119,879
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,691,292
(1) 長期前受金	2,587,565
(2) 長期前受金収益化累計額()	896,273
資本合計	-93,788
1 資本金	1,226,373
2 剰余金	-1,320,161
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,320,161
負債・資本合計	2,661,177
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	93,788
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	153,386	155,386
資本勘定繰入	9,404	9,404
計	162,790	164,790

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	81.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				福島県	
市町村・組合名	相馬方部衛生組合				
病院名	公立相馬総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透 未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	14,604 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	198	60.8	64.4	59.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	198	60.8	64.4	59.8
平均在院日数(一般病床のみ)		13.4	12.7	12.5

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	643,616	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	96.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,069,526			
1 経常収益	3,826,691			
(1) 医業収益	2,959,313			
入院収益	1,760,981			
外来収益	1,002,038			
診療収入計	2,763,019			
その他医業収益	196,294			
(うち他会計負担金)	101,599			
(2) 医業外収益	867,378			
(うち国・都道府県補助金)	241,565			
(うち他会計補助・負担金)	296,675			
(うち長期前受金戻入)	276,603			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	242,835			
(うち他会計繰入金)	242,835			
総費用	3,921,955			
2 経常費用	3,856,906			
(1) 医業費用	3,657,274			
職員給与費	1,751,045	59.2	62.1	67.4
材料費	665,675	22.5	25.3	17.7
(うち薬品費)	329,284	11.1	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	336,391	11.4	11.4	8.8
減価償却費	374,700	12.7	9.5	10.7
経費	858,629	29.0	22.7	29.2
(うち委託料)	362,570	12.3	12.6	13.9
研究研修費	3,682			
資産減耗費	3,543			
(2) 医業外費用	199,632			
(うち支払利息)	47,174	1.6	1.3	1.5
(3) 特別損失	65,049			
損益				
経常損益	-30,215			
純損益	147,571			
累積欠損金	3,281,332			
経常収支比率	99.2		101.9	100.3
医業収支比率	80.9		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	10.4		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	13.5		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	15.8		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	88.9		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,921,601
1 固定資産	5,158,616
(1) 有形固定資産	5,143,528
(2) 無形固定資産	1,288
(3) 投資その他の資産	13,800
2 流動資産	762,985
(1) 現金及び預金	244,544
(2) 未収金及び未収収益	474,130
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	44,311
3 繰延資産	-
負債合計	5,863,023
1 固定負債	2,725,190
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,893,037
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	832,153
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,352,399
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	282,629
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	124,544
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	600,000
(8) 未払金及び未払費用	345,226
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,785,434
(1) 長期前受金	3,826,658
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,041,224
資本合計	58,578
1 資本金	3,195,859
2 剰余金	-3,137,281
(1) 資本金剰余金	144,051
(2) 利益剰余金	-3,281,332
負債・資本合計	5,921,601
不良債務	306,785
実質資金不足額	306,785
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.1
修正医業収益(千円)	2,857,714

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	393,176	641,109
資本勘定繰入	180,270	286,867
計	573,446	927,976

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	306,785	10.4
令和元年度	400,052	13.1
平成30年度	443,774	14.7

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	110.9
健全化法上の資金不足額(千円)	306,785
健全化法上の資金不足比率(%)	10.3
地財法上の資金不足額(千円)	306,785
地財法上の資金不足比率(%)	10.3

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。